

あつぎ郷土博物館年報 2

ANNUAL REPORT OF ATSUGI CITY MUSEUM



2020. May.

● 目 次 ●

I 建 築

1 沿 革	3
2 施設概要	3
3 平面図	4
4 展示テーマ	5

II 学 芸

1 展 示	
(1) 特別展示	7
(2) 企画展示	8
(3) その他展示	9
(4) 展示会関連講座等	10
(5) 学芸員実習・職場体験学習	13
2 普及啓発活動	
(1) 土日 定期講座	14
(2) 施設見学	17
(3) 出前展示・講座	18
(4) レファレンス業務	19
3 刊行物	20
4 古民家岸邸	24
5 資料の収集・保管・活用	25

III 庶 務

1 組織及び職員	
(1) 組 織	29
(2) 博物館協議会	29
2 施 設	
(1) 郷土博物館	30
(2) 古民家岸邸	31
3 入館者数	32

I 建 築

1 沿 革

あつぎ郷土博物館の建設から開館までの経緯は、おおむね次のとおり。(仮称)郷土資料館として、平成29年度より本格的な建設準備に着手し、平成31年1月27日に開館。正式名称を「厚木市立あつぎ郷土博物館」と改めた。

平成20年6月	文化財課（当時）が市民公園（下川入）整備構想担当課に決定
平成27年3月1～30日	基本方針（案）に対するパブリックコメント実施
平成28年4月1日	（仮称）あつぎ郷土資料館検討委員会を設置
平成29年3月	（仮称）あつぎ郷土資料館建設実施設計、展示設計を実施、完了
平成29年10月	建築着工
平成30年9月	駐車場等外構工事着手、埋蔵文化財収蔵庫建築工事着手
平成30年10月31	（仮称）あつぎ郷土博物館竣工
平成30年11月～	展示工事着手
平成31年1月18日	展示工事完成
平成31年1月27日	あつぎ郷土博物館開館 あつぎ郷土博物館条例が施行される。

2 施設概要

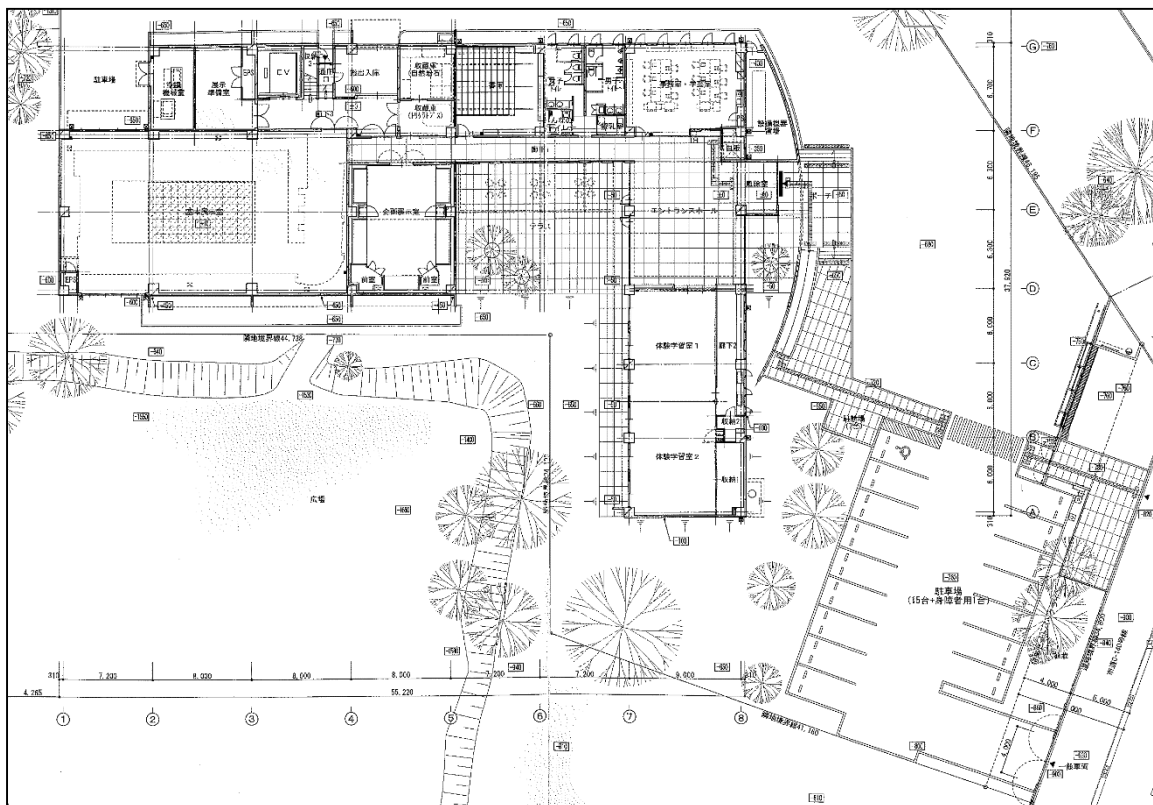
- ・所在地 神奈川県厚木市下川入1366-4
- ・敷地面積 10,025㎡
- ・建築面積 1,590㎡
- ・延床面積 1階 1,092㎡、2階 497㎡
- ・構 造 鉄筋コンクリート造 2階建
- ・工 期 着工 平成29年10月
完成 平成30年10月
- ・開 館 平成31年1月27日

・工事関係者一覧

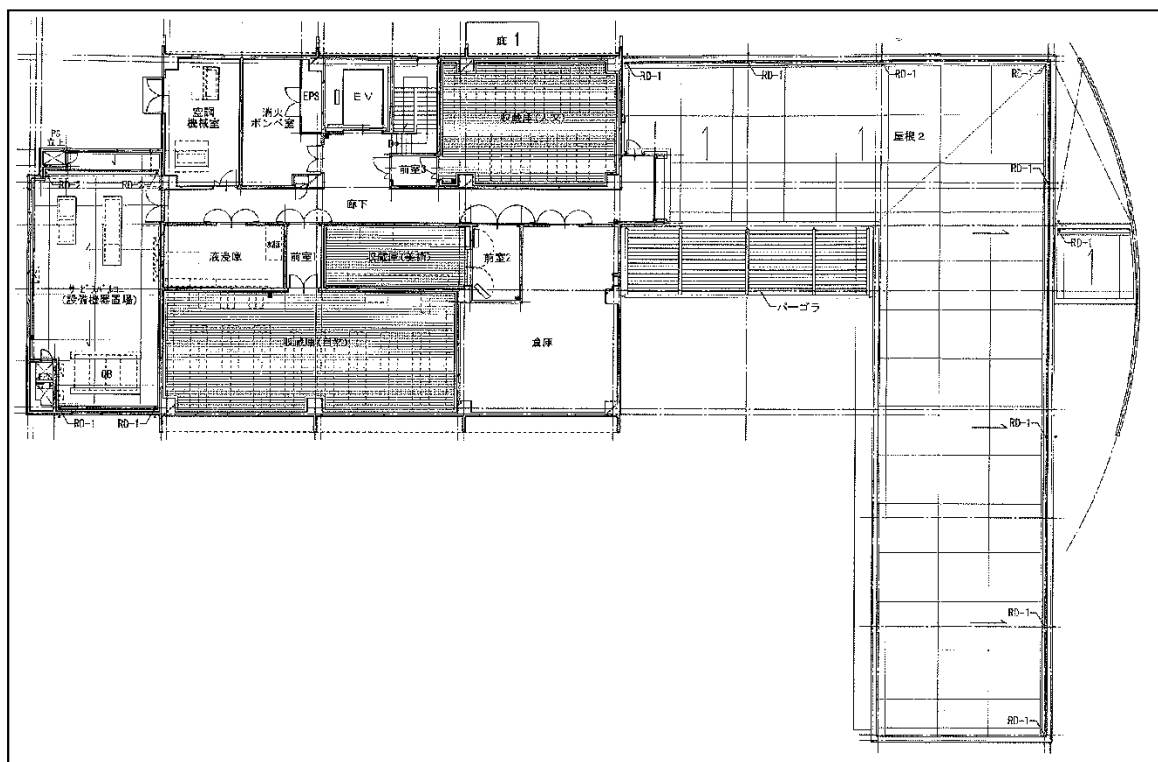
建築設計・管理	株式会社 小林建築事務所
展示設計・管理	株式会社 丹青社
建築工事	山王・安藤特別共同企業体
外構工事	山王・安藤特別共同企業体
展示工事	株式会社 丹青社

3 平面図

・ 1F



・ 2F



4 展示テーマ

基本展示は、地学・考古・歴史・民俗・自然、5つの分野で構成し、各分野でさらに項目、細項目をたて、郷土あつぎを理解できるような展示とした。また、分野を横断して1つのテーマに取り組む「融合展示」は令和2年度のテーマを「木」とした(=写真)。展示は、実物資料を中心として興味深い資料を実際にみていただき、具体的なデータはパネル等で説明している。

- ①展示面積 292㎡
- ②展示資料数 663点(うち融合展示73点)
- ③展示資料点数内訳

	地学資料	考古資料	歴史資料	民俗資料	自然資料	合 計
テーマ	あつぎの風土を望む	あつぎの大地から	あつぎの原風景を訪ねて	あつぎの人、くらしに出会う	あつぎの環境と生きものを探る	663
基本展示資料点数	11	157	203	106	113	590
融合展示資料点数	0	21	4	17	31	73



博物館事業 報告

Ⅱ 学 芸

1 展示

(1) 特別展示

特別展示 あつぎの花咲く植物の世界 ～神奈川県植物誌2018の成果をひもとく～

期 間 2月22日～3月3日（新型コロナウイルス感染拡大により、22日までの予定を短縮）

開催日数 10日 展示点数 50点

入場者数 特別展示単独でのカウントはとらなかったが、
期間中の博物館入館者数は1,035名（1日平均 約104人）

神奈川県は、植物標本が古くから受け継がれている全国的にも限られた重要な地域と位置付けられている。その証拠として、他の地域から県内を訪れ、様々な植物を採集した記録が残っており、多くは国立科学博物館や首都大学東京牧野標本館など、国内各地の博物館に残されている。

当館は、市民の皆様や訪れたお客様に厚木の歴史や文化、自然等を紹介し、郷土への興味や関心をより深くもっていただくため展示を通して魅力を理解していただくことを目的として開催した。



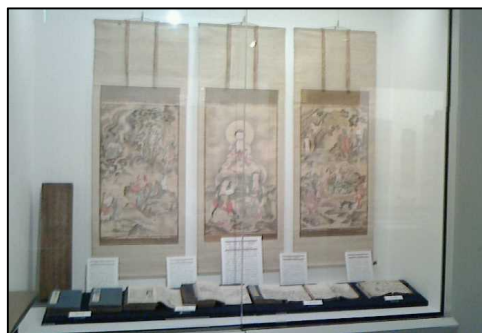
(2) 企画展示

あつぎ郷土博物館では令和元年度、以下の企画展示を開催した。

	タイトル	期 間／日 数	見学者数* (1日平均)
ア	祈りのかたち—名号と題目の功德—	4月27日(土)～6月23日(日)／57日	5,856(103)
イ	夏乃暗闇教室—暗闇ノ森ニウゴメク物—	7月20日(土)～9月1日(日)／42日	5,829(139)
ウ	木とくらし —サトの木、ヤマの木、鎮守の木—	9月21日(日)～11月17日(日)／57日	6,053(106)
エ	ちょっと昔 荻野のくらし 岸ユリ写真展	11月23日(土)～12月27日(金)／34日	3,485(103)
オ	あつぎの遺跡展 縄文ムラ発見!—三田林根遺跡の調査から—	1月18日(土)～2月11日(火)／24日	3,784(158)

*見学者数は特別展示と同じ期間の博物館来館者数。

ア 祈りのかたち：厚木市指定文化財となった「釈迦三尊図、十八 羅漢図」（島崎旦良、養徳寺寄託）「釈迦涅槃図（井上五川、養徳寺寄託）」のお披露目とともに、遊行寺が所蔵する「一遍聖絵」の高精度な複製（藤沢市教育委員会蔵）を展示することで、名号・題目をめぐる市内の信仰の様子を紹介した。



イ 夏乃暗闇教室：観察する機会の少ない暗闇の生きものを紹介し、講座との連動によって暗闇での観察方法などを提供した。また、展示室を夜、ホールを昼の世界に見立て、児童向け図書・図鑑を置いたこもれび図書室を設け、暗闇の世界への理解を促した。



ウ 木とくらし：中川重年コレクションからアジアのロクロ関連の資料を借用、展示することで、大山の木地師を考えるとともに、当館所蔵の木製民具を中心に伐採道具や民具を作成するための道具を展示し、厚木の人々と森、木との関わり方、接し方を紹介した。同資料は展示会終了後、当館へ寄贈された。



エ **岸ユリ写真展**：古民家岸邸の住人であった岸ユリ氏が撮影した写真(約30点)と写真が撮影された当時に使用されていた道具等を展示し、「ちょっと昔」の生活の様子を紹介した。

オ **縄文ムラ発見！**：三田小学校のグラウンド整備に伴い発掘調査された三田林根遺跡の出土遺物を展示した。合わせてホール等でワークショップを行った。

(3) その他の展示

ア ホール展示

郷土資料館では平成22年度から「ホール展示」を開催してきたが、あつぎ郷土博物館でも、それを引き継ぎ、エントランスホールを利用して資料を展示、紹介した。

回	タイトル	期 間／日 数	来館者数 (1日平均)
1	一文教の地をバトンタッチー 菁莪小学校のシンボル ～第1章～	5月11日(日)～6月30日(日)／50日	4,227(85)
2	作家澤口たまみと画家たしろちさとの世界 ～たしろちさと原画展～	10月1日(火)～11月3日(日)／33日	3,162(96)
3	宮城秋乃の虫世界と写真展	11月4日(月)～12月15日(日)／40日	4,876(122)
4	角正美雪、大自然への憧れが、 いつしかむしのうんこ愛へ展	12月16日(月)～1月19日(日)／27日	2,536(94)
5	開館1周年のあゆみ	1月26日(日)～3月3日(火)／37日	4,390(119)

*見学者数は特別展示と同じ期間の博物館来館者数。

- 1、「菁莪小学校のシンボル」では、前年度に開催した菁莪小学校展を受けて開催したもので、前回の展示は写真を中心としたものであったが、今回は懸魚や校旗などモノを中心に菁莪小学校の資料を展示、紹介した。
- 2-4、連続講座「虫めづる姫君たち」をより深く楽しむための展示で、講師として招いた作家、昆虫研究家、博物館学芸員らが撮影した写真や絵本の原画、実際に使用していた道具などを借用して展示、紹介した。
- 5、「開館1周年のあゆみ」は、博物館開館1周年を記念した展示で、開館の準備段階から1年間に開催した展示会・行事の様子を撮影した写真パネルを飾り、これまでの博物館の活動を紹介した。3月31日までの展示を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大により3月3日(火)で展示を終了した。

(4) 展示会関連講座等 (41回)

ア 展示会関連講座

特別展・企画展の開催にあたり、見学者の理解を深め、また展示効果を高めるため、展示テーマに関連した講演会・体験学習を開催した。

回	開催日	テーマ	場所	参加者数
1	4月27日(土)	何と言って拝むのか 講師:小島 瓊禮(琉球大学名誉教授)	体験 学習室	64
2	5月25日(土)	大会念仏と徳本上人 講師:西海 賢二(東京家政学院大学名誉教授)	体験 学習室	55
3	5月26日(日)	あつぎの念仏講を見る、きく 講師:養徳寺 念仏講中	体験 学習室	30
4	6月 1日(土)	一遍上人絵伝をめぐる 講師:遠山 元浩(遊行寺宝物館館長)	体験 学習室	55
5	6月15日(土)	名号と石造物 講師:加藤 隆志(相模原市博物館)	体験 学習室	40
6	7月27日(日)	自然観察会 暗闇に生まれる 講師:槐 真史(当館学芸員)	交流 プラザ	35
7	8月31日(土)	自然観察会 暗闇を聴く 講師:槐 真史(当館学芸員)	体験 学習室	9
8	9月21日(土)	里山再考 講師:小島 瓊禮(琉球大学名誉教授)	体験 学習室	15
9	9月29日(日)	木ごころを知る 講師:中川 重年(元京都学園大学教授)	体験 学習室	25
10	10月12日(土)	木の道具を知る 講師:鈴木 通大(元神奈川県立歴史博物館学芸員)		0
11	10月14日(月)	大山独楽をつくる 講師:播磨 啓太郎(大山独楽職人)	体験 学習室	20
12	11月24日(日)	岸邸で知る 明治・大正・昭和の住宅 講師:小沢 朝江(東海大学教授)	体験 学習室	20
13	1月18日(土)	三田林根遺跡の調査成果 講師:佐藤 健二(厚木市文化財保護課職員)	体験 学習室	55
14	2月 1日(土)	拓本体験	体験 学習室	43
15	2月 2日(日)	まが玉づくり	体験 学習室	55
16	2月 9日(日)	縄文時代の集落について 講師:中村 大(立命館大学)	体験 学習室	106

17	2月11日(火)	縄文の模様をつけてみよう ―ミニ土器を作る―	体験 学習室	60
18	2月22日(土)	あつぎの草木、今昔物語 講師:勝山 輝男(神奈川県植物誌調査会会長)		0
合 計 (16回)				687

※10は台風19号接近による休館、18は新型コロナウイルス感染拡大により中止した。

イ 展示解説

特別展・企画展の開催にあたり、見学者の理解を深め、また展示効果を高めるため、各展示担当の学芸員による展示解説を実施した。

	実施日	事業名	参加人数	小計(人)
特別展	4月3日(水)	展示解説「浮世絵の世界」展をみる 担当：大野 一郎 (当館学芸員)	5	35
	4月7日(日)		30	
企画展	4月28日(日)	展示解説「祈りのかたち」展をみる 担当：大野 一郎 (当館学芸員)	10	67
	4月30日(火)		7	
	5月1日(水)		15	
	5月3日(金)		20	
	6月8日(土)		5	
	6月22日(土)		10	
企画展	7月20日(土)	展示解説「暗闇を感じる」 担当：槐 真史(当館学芸員)	30	30
企画展	10月6日(日)	展示解説「木とくらし」をみる 担当：大野 一郎 (当館学芸員)	5	23
	10月20日(日)		10	
	11月2日(土)		8	
企画展	12月8日(日)	展示解説「ちょっと昔 荻野のくらし 岸ユリ写真展」 担当：山岡 裕子 (当館学芸員)	3	3
合 計 (13回)				158

ウ 連続講座

渡辺華山や女性の昆虫愛好家、中世史などテーマを設定した講座を企画し、多くの市民の方の参加をみた。

事業名	実施日	講座名	場所	参加人数
虫めづる 姫君たち	10月19日(土)	姫の学習会① 「澤口たまみ、絵本の世界」を楽しむ 講師:槐 真史 (当館学芸員)	体験 学習室	15

11月3日(日)	たまみさん、そんなにやさしく語られちゃったら、 キライな虫までスキになってしまうじゃないですか 講師:澤口 たまみ(作家・エッセイスト)	体験 学習室	47
11月17日(日)	姫の学習会②「アキノ隊員の鱗翅体験」とは 講師:槐 真史 (当館学芸員)	体験 学習室	18
12月15日(日)	図鑑で妄想 ―鱗翅体験から見えるもの― 講師:宮城 秋乃(チョウ類研究家)	体験 学習室	47
1月11日(土)	姫の学習会③ 角正美雪のうんこ愛、その熱源をひもとく 講師:槐 真史 (当館学芸員)	体験 学習室	21
1月19日(日)	むしのうんこ、すごいでしょ！ ―この素晴らしき！むしうんこパワー― 講師:角正 美雪(伊丹市昆虫館学芸員)	体験 学習室	53
合 計 (6回)			201

エ イベント

事業名	実施日	内容	場所	参加人数
開館1周年 記念公演	1月25日(土)	郷土芸能ワークショップ 講師:相模里神楽垣澤社中	体験 学習室	34
	1月26日(日)	郷土芸能特別公演 里神楽 出演:相模里神楽垣澤社中	体験 学習室	150
合 計 (2回)				184

オ その他

	開催日	講座名	場所	参加人数
その他	10月3日(木)	「教頭会 展示見学研修」 (教育研究所)	体験 学習室	25
	10月7日(月)	「小学校社会科教育部 見学会」 (教育研究所)	体験 学習室	50
	10月18日(土)	「神奈川と地域博物館」 (神奈川県博物館協会)	体験 学習室	55
	12月14日(土)	「神奈川と地域博物館」 (首都圏形成史研究会)	体験 学習室	65
合 計 (4回)				235

(5) 学芸員実習、職場体験学習

ア 学芸員実習

学生の学芸員資格取得のため、3人の実習生を受け入れた。実習カリキュラムは以下のとおり。

期 間	7月27日から9月2日の間（8日間）
実 習 生	3人（東京農業大学・神奈川大学・青山学院大学）
内 容	博物館業務全般についての実習
指 導 者	郷土博物館学芸員

月日	曜日	集合時間と場所・実習内容	担当	実施場所等
7月27日	土	13時から 博物館ホール 13-17時：ガイダンス・自然系実務実習 18-21時：自然系事業従事	槐	博物館・アミューあつぎ・厚木中央公園
8月18日	日	13時から 博物館・体験学習室 13-17時：自然系実務実習 18-21時：自然系事業従事	槐	博物館・周辺
8月20日	火	13時から 博物館・体験学習室 13-17時：自然系実務実習 18-21時：自然系事業従事	槐 佐藤	博物館・周辺
8月27日	火	9時から 博物館 人文系実務実習 人文系実習（民具洗浄、カード作成）	大野	体験学習室
8月28日	水	9時から 博物館 人文系実務実習 古民家岸邸 維持管理	中野	古民家岸邸
8月29日	木	9時から 博物館 自然系実務実習	槐	体験学習室
8月30日	金	9時から 博物館 人文系実務実習 人文系実習（歴史資料の扱い）	飯田	体験学習室
9月2日	月	9時から 博物館 体験学習室 企画展示撤収	槐	体験学習室

イ 職場体験学習

中学校の総合学習の一環として実施されている職場体験学習だが、今年度は林中学校、藤塚中学校、南毛利中学校からそれぞれ2人を受け入れ、博物館職員の仕事の一部を体験してもらった。

また、社会体験研修（中堅教員研修）として市内小学校教員を受け入れた。

2 普及啓発活動

あつぎ郷土博物館では、調査・研究の成果を活かした普及講座を行なっている。

今年度は、土日を中心に普及活動を展開し、基本展示室展において各担当学芸員が専門分野を活かした展示解説、講座・講演会を多数行った。

(1) 土日 定期講座等 (100回)

ア 展示解説

事業名	回数	参加人数
展示解説「展示で知る、あつぎの自然」担当：槐 真史・佐藤 誠三	13	290
展示解説「展示で知る、あつぎの民俗」担当：大野 一郎	6	60
展示解説「展示で知る、あつぎの歴史」担当：飯田 好人	8	119
合 計	27	469

イ 博物館講座

	事業名	実施日	講座名	場所	参加人数
1	神奈川県植物誌調査会共催	4月13日(日)	神奈川県植物誌調査会 特別講演 講師：田中 徳久(神奈川県植物誌調査会)	体験 学習室	90
2	(仮称)渡辺 崋山展 プロジェクト (2回)	5月12日(日)	厚木と渡辺崋山」 講師：増田 裕彦(厚木市文化財保護課課長)	体験 学習室	41
		2月2日(日)	絵師としての渡辺崋山 講師：鈴木 利昌(前・田原市博物館館長)	交流 プラザ	55
		3月20日(金)	旅人・渡辺崋山 講師：岡田 幸夫	講座中止	0
3	自然観察会 (11回)	5月26日(日)	下川入菁莪公園の動物たち 講師：佐藤 誠三 (当館臨時職員)	博物館周辺	30
		6月23日(日)	モグラの不思議発見体験 講師：佐藤 誠三 (当館臨時職員)	博物館周辺	13
		6月29日(土)	アリの生活のぞき 講師：佐藤 誠三 (当館臨時職員)	博物館周辺	4
		8月3日(土)	蝶の観察体験 講師：佐藤 誠三 (当館臨時職員)	博物館周辺	19
		8月10日(土)	自然発見ビンゴ！ 講師：佐藤 誠三 (当館臨時職員)	博物館周辺	8

		8月25日(日)	葉っぱカルタ遊び 講師:佐藤 誠三 (当館臨時職員)	博物館周辺	25
		9月7日(土)	木触りビンゴ! 講師:佐藤 誠三 (当館臨時職員)	博物館周辺	18
		9月14日(土)	秋の雑木林に暮らす生きもの発見 講師:佐藤 誠三 (当館臨時職員)	博物館周辺	12
		9月23日(月)	秋のわくわく自然発見散歩 講師:佐藤 誠三 (当館臨時職員)	博物館周辺	0
		9月28日(土)	鳥の不思議観察 モズの追跡 講師:佐藤 誠三 (当館臨時職員)	博物館周辺	0
		10月13日(日)	博物館周辺の木を見る 講師:佐藤 誠三 (当館臨時職員)	博物館周辺	8
		10月27日(日)	博物館周辺の木を見る 講師:佐藤 誠三 (当館臨時職員)	博物館周辺	0
		11月9日(土)	自然発見観察ガイド&クリスマスリースつくり に挑戦 講師:佐藤 誠三 (当館臨時職員)	博物館周辺	15
		12月22日(日)	鳥好き集合・水辺の鳥探し・絵コンテ 講師:佐藤 誠三 (当館臨時職員)	博物館周辺	0
		1月13日(月)	博物館周辺の鳥観察と鳥ペンダント作り体験 講師:佐藤 誠三 (当館臨時職員)	博物館周辺	5
4	自然講座 (7回)	6月2日(日)	博物館周辺の生き物・自然観察スライド 講師:佐藤 誠三 (当館臨時職員)	体験 学習室	35
		6月9日(日)	博物館周辺の生き物・自然観察スライド 講師:佐藤 誠三 (当館臨時職員)	体験 学習室	16
		6月16日(土)	博物館わくわく体験ガイド 講師:佐藤 誠三 (当館臨時職員)	体験 学習室	15
		7月13日(土)	博物館周辺の生き物・自然観察スライド 講師:佐藤 誠三 (当館臨時職員)	体験 学習室	25
		8月12日(月)	自然講座・博物館周辺のいきものスライド 講師:佐藤 誠三 (当館臨時職員)	体験 学習室	5
		9月22日(日)	博物館周辺のいきものスライド 講師:佐藤 誠三 (当館臨時職員)	体験 学習室	8
		11月23(土)	鳥類調査会・博物館周辺の鳥を調べる 講師:佐藤 誠三 (当館臨時職員)	講座中止	0
		12月1日(日)	鳥類観察・下川入の田んぼの鳥を調べる 講師:佐藤 誠三 (当館臨時職員)	体験 学習室	1
5	歴史講座 (5回)	6月30日(日)	歩いて学ぶ あつぎの歴史 講師:飯田 好人 (当館臨時職員)	博物館周辺	12
		7月28日(日)	歩いて学ぶ あつぎの歴史 講師:飯田 好人 (当館臨時職員)	博物館周辺	10
		8月11日(日)	歩いて学ぶ あつぎの歴史 講師:飯田 好人 (当館臨時職員)	博物館周辺	5

		9月15日(日)	歩いて学ぶ あつぎの歴史 講師:飯田 好人 (当館臨時職員)	博物館周辺	8
		9月21日(土)	歩いて学ぶ あつぎの歴史 講師:飯田 好人 (当館臨時職員)	博物館周辺	5
		12月21日(日)	歩いて学ぶ あつぎの歴史 講師:飯田 好人 (当館臨時職員)	博物館周辺	0
6	民俗講座 (5回)	7月21日(日)	歩いて学ぶ あつぎの民俗 講師:大野 一郎 (当館学芸員)	博物館周辺	18
		8月17日(土)	歩いて学ぶ あつぎの民俗 講師:大野 一郎 (当館学芸員)	博物館周辺	5
		9月8日(日)	歩いて学ぶ あつぎの民俗 講師:大野 一郎 (当館学芸員)	講座中止	0
		9月16日(月)	歩いて学ぶ あつぎの民俗 講師:大野 一郎 (当館学芸員)	博物館周辺	5
		9月29日(日)	歩いて学ぶ あつぎの民俗 講師:大野 一郎 (当館学芸員)	博物館周辺	5
		11月10日(日)	歩いて学ぶ あつぎの民俗 講師:大野 一郎 (当館学芸員)	博物館周辺	7
7	考古学 講座 (2回)	8月20日(火)	まが玉講座 初級編 講師:厚木市文化財保護課職員	体験 学習室	65
		8月24日(土)	まが玉講座 上級編 講師:厚木市文化財保護課職員	体験 学習室	25
8	郷土芸能 体験公演 (2回)	7月27日(土)	特別体験公演 ささら 公演・講師:長谷ささら盆唄保存会	体験 学習室	52
		12月7日(土)	特別体験公演 相模人形芝居 長谷座 公演・講師:相模人形芝居長谷座	体験 学習室	98
9	古文書 講座 (2回)	1月30日(木)	はじめての古文書 講師:飯田 好人(当館臨時職員) *3回目より講座中止	体験 学習室	9
		2月13日(木)			9
		2月27日(木)			0
		3月12日(木)			0
		3月19日(木)			0
		3月26日(木)			0
10	中世史講座 もののふ と相模国 *講座中止	2月29日(土)	入門講座 ものふと相模国への招待 講師:飯田 好人(当館臨時職員)	体験 学習室	0
		3月8日(日)	鎌倉幕府の成立と相模国の武士たち 講師:岩田 慎平(愛川町郷土資料館学芸員)		0
		3月15日(日)	戦国相模の大名と家臣 講師:黒田 基樹(駿河台大学副学長)		0
合 計(37回)				786	

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、2月14日以降の全ての講座を中止とした。

※参加者がなかったものについては回数に含めていない。

ウ 共催講座

郷土資料館の頃より、資料整理、調査、普及活動で協働してきた団体との活動を、あつぎ郷土博物館への移転後も継続、実施している。

団体（活動日）	回数	参加人数
古文書解読会(第2、3木曜日。4木曜日は学習会)	32	480
伝えよう わらべうたあそびの会 (第3月曜日。第1月曜日はアミューあつぎで開催)	1 (11)	220
女性史研究会 さねさし (第3水曜日)	3 (11)	46
合 計	36 (54)	746

※博物館職員加者が会に出席しなかったものについては回数に含めていない。

(2) 施設見学

平成13年度より、郷土資料館が収蔵する郷土資料について市民への公開を進めるため、小中学校、公民館、保育所などで出前展示、講座を実施してきたが、あつぎ郷土博物館への移転後も継続、実施している。

ア 小学校 25校

市内の小学校、主に3、4年生を対象に博物館を利用した施設見学を行った（*妻田、北小学校は複数学年が見学）。

開催日	学校名	人 数	開催日	学校名	人 数
6月 7日(金)	妻田小学校4年生	80	12月 4日(水)	妻田小学校3年生	72
6月20日(木)	毛利台小学校	中止	12月10日(火)	北小学校3年生	67
7月 3日(水)	上依知小学校4年生	52	12月17日(火)	玉川小学校3年生	31
9月10日(火)	相川小学校3年生	38		依知南小学校3年生	68
10月11日(金)	第二小学校3年生	145	12月19日(木)	依知小学校3年生	82
10月17日(木)	鳶尾小学校3年生	52	1月17日(金)	荻野小学校3年生	50
10月25日(金)	毛利台小学校3年生	85	1月22日(水)	戸室小学校3年生	120
11月 8日(金)	北小学校1年生	50	1月24日(金)	小鮎小学校3年生	85
11月 8日(月)	森の里小学校3年生	41	1月29日(水)	飯山小学校3年生	34
11月15日(金)	南毛利小学校3年生	162	1月31日(金)	愛甲小学校3年生	104
11月19日(火)	三田小学校4年生	153	2月 5日(水)	戸田小学校3年生	68
11月21日(木)	厚木小学校3年生	178	2月 5日(木)	上荻野小学校3年	76
11月26日(火)	清水小学校3年生	149	2月21日(金)	緑ヶ丘小学校3年生	112
合 計	23校(25回)	2,154人			

イ 保育所

4園

タイトル	開催日	保 育 所	参加人数
施設見学	5月11(土)	本厚木さくらんぼ幼稚園	22
	10月16日(水) 12月18日(水)	伊勢宮幼稚園 (35×2日)	70
	7月10日(水) 11月5日(火)	厚木たちばな幼稚園(7月 53人、11月 52人)	105
	2月18日(火)	厚木田園幼稚園	170
合 計			367

(3) 出前展示・講座

平成13年度より、郷土資料館が収蔵する郷土資料について市民への公開を進めるため、小中学校、公民館、保育所などで出前展示、講座を実施してきたが、あつぎ郷土博物館への移転後も継続、実施している。

タイトル	開催日	場 所	参加人数
出前講座 (小学校)	5月28日(土)	依知南小学校6年「総合学習 大山」(縁起、七不思議)	98
	11月22日(火)	三田小学校3年 昔の道具 (社会科)	123
	12月3日(水)	清水小学校3年 昔の道具 (社会科)	151
	2月12日(水)	上依知小学校3年 昔の道具 (社会科)	56
合 計			428

タイトル	開催日	場 所	参加人数
講師派遣 (公民館他)	6月11日(木)	「初任者研修」 (教育研究所)	35
	10月3日(木)	「学級講座 大山」 (森の里公民館)	60
	11月2日(木)	「地域めぐり」 (南毛利公民館)	55
	11月16日(木)	「地域めぐり」 (林中学校)	25
	6月1日(木)	「川は友だち」 (森の里公民館)	35
合 計			210

(4) レファレンス業務

地域資料に関する市民の疑問、質問の相談に対し、郷土博物館が収集している情報によって回答を行っている。今年度の業務件数は以下の通り。下記は、相談内容の例。

【利用者数】総数151件(うち人文系81、自然系70)

分野	質問者	相談内容	対応
人文	一般	岸邸の銅版画他について	「商いと地域の変遷」と他の銅版画を紹介しながら、精興社の商法を伝えた。
	一般	旭町最勝寺の閻魔堂他について	閻魔堂の由来と旭町2-5丁目を十羅刹と呼んだ理由→江戸の十王信仰隆盛について、他所のものも明治に多いこと。十三仏もそのバリエーションのひとつと伝えた。
	一般	厚木町の見学等について	溝呂木氏の昔の屋敷、厚木宿の面影、痕跡が辿れるスポット紹介の依頼。→長島理容店、大鳥神社、諏訪神社などについても伝えた。
	一般	北条家文書について	小田原北条家500年の記念展で宗瑞の文書を探している。→厚木市の指定中世文書2葉は天正16、17年氏直のもの。『散策ガイドあつぎ』を紹介した。
	一般	林村寄託資料 芝居興行申請について	閲覧等の依頼。人形、地芝居、神楽など民俗芸能一般の現状等について知りたい
自然	一般	戸室周辺で地層の分かる露頭について	所在を教えて欲しい。当館には地学専門の職員がいないため、他館等の研究者と連携して回答することとした。その結果、研究者から「子の神神社下の崖があるが、露頭解説は難しい」との回答を得て、質問者に回答した。
	一般	セミの抜け殻調査について	調査手法や資料保存などについてレファレンスした。
	一般	撮影した昆虫について	来館者からスマートフォンで撮影した昆虫の名前を知りたいという依頼があり、その場で写真を見せていただきながら対応した。写真はマンション壁についたナナフシモドキであった。
	一般	庭に来る野鳥について	来館者から庭に来る野鳥の名前を知りたいという依頼があり、野鳥の特徴や季節などからジョウビタキのオスである旨を回答した。
	一般	庭の植物について	庭に植えた植物で、実がどのような物かを知りたいという依頼があり、植物図鑑を見ていただきながらレファレンスした。
	一般	展示手法について	暗闇教室展の照明の調整について知りたいとのことで、展示器具なども交えてレファレンスした。

3 刊行物

郷土博物館では、展示の内容をより深く理解する手立てとして基本展示図録、特別展示図録などを刊行している。

従来、事業周知を目的とし、月1度の発行としてきた『郷土資料館NEWS』は、『あつぎ郷土博物館NEWS』と改称し、刊行を続けている。また、事業報告を行ってきた『郷土資料館年報』についても、『郷土博物館年報』として同様にネット上で公開を行っている。

[あつぎ郷土博物館 基本展示図録]

『あつぎ郷土博物館 基本展示図録』 2019. 01 A 4 版 1,000部

『あつぎ郷土博物館 基本展示図録』 2019. 06 A 4 版 1,000部(初版2刷)

[あつぎ郷土博物館 開館記念特別展示図録]

『第1回開館記念特別展示 みる、しる、たのしむ

浮世絵の世界—歌麿・北斎・広重—』 2019. 01 A 4 版 1,000部

[あつぎ郷土博物館 特別展示図録]

『あつぎの花咲く植物の世界—神奈川県植物誌2018の成果をひもとく—』

2019. 01 A 4 版 1,000部

[あつぎ郷土博物館 NEWS号外]

『あつぎ郷土博物館 NEWS号外』 (1～3号) 2019. 4～6 A 4 版 1,150部

[あつぎ郷土博物館 NEWS]

『あつぎ郷土博物館 NEWS』 (1～9号) 2019. 7～2020. 3 A 4 版 1,350部

[(仮称) あつぎ郷土博物館 準備NEWS]

『 (仮称) あつぎ郷土博物館 準備NEWS』 (1～9号) 2018. 4～12 A 4 版 1,350部

【参 考】厚木市郷土資料館 刊行物

[郷土資料館 常設展示図録]

『常設展示図録 あつぎ百科』1998. 11 B 5 版 1,500部

[郷土資料館 特別展示図録]

『第1回 おおやまの生きもの』1998. 11 A 5 版 1,500部

『第2回 出開帳』1999. 11 B 5 版 1,500部

『第3回 化石』2000. 7 A 4 変形 1,500部

『第4回 東海道と矢倉沢往還』2001. 9 A 4 版 1,000部

『第5回 あつぎ地域の草木☆花めぐり』2002. 12 A 5 版 1,000部

『第6回 農具から農機具へ～流通民具が語るもの～』2003. 11 A 4 版 1,000部

『第7回 養蚕書と出版文化～養蚕文化はどう伝わったのか～』2004. 11 A 4 版 1,000部

『第8回 相模川の生きものに親しむ』2005. 11 A 5 版 1,000部

『第9回 商家と看板』2007. 2 A 4 版 1,000部

『第11回 本厚木駅と厚木駅～小田急、相鉄、相模線とあつぎ～』2008. 11 A 4 版 1,000部

『第12回 あつぎのむし』2009. 11 A 5 版 1,000部

『第13回 ー引札、チラシ、マッチラベル、錦絵、看板ー

広告メディアが語る「商い」と地域の変遷』2010. 11 A 4 版 1,000部

『第14回 あつぎ あきのむし』2011. 10 A 5 版 1,000部

『第15回 あつぎ 縁起書の世界ー神さま仏さまのプロフィールー』2012. 11 A 4 版 1,000部

『第16回 あつぎの野鳥』2013. 11 A 5 版 500部

『第17回 化粧』2014. 11 A 4 版 500部

『第18回 あつぎの草木＊花めぐり』2015. 11 A 5 版 500部

『第19回 あつぎと酒』2016. 11 A 4 版 500部

※第6回のみ無償、他は有償頒布。第10回は開館10年記念展。

[郷土資料館開館10年記念特別展図録] (無償頒布)

『郷土資料館開館10年記念特別展 あつぎ文化財まつり』2007. 11 A 4 版 2000部

[厚木市郷土資料館資料]

『飯田コレクション 養蚕書関連資料リスト』民俗資料調査報告 2005. 3. 31 A 4 版150部

『飯田コレクション 養蚕関連資料リスト』民俗資料調査報告 2006. 3. 31 A 4 版 150部

『飯田コレクション 地域関連資料リスト1』民俗資料調査報告 2006. 3. 31 A 4 版 200部

『あつぎ 暮らしの文化財 盆のスナモリ編』民俗資料調査報告 2006. 11. 30 A 4 版50部

[郷土資料館 収蔵資料展示図録]

- 『第1回 厚木の画家 島村亮』1998.12 A4版 500部
- 『第7回 町場のくらしと民具』2000.2 A4版 500部
- 『第9回 職人の道具』2000.6 A4版 500部
- 『第11回 鎧と刀』2000.12 A4版 500部
- 『第12回 あつぎの野鳥』2001.2 A4版 500部
- 『第13回 活動する青年たち』2001.6 A4版 500部
- 『第16回 あつぎの民俗芸能』2001.12 A4版 500部
- 『第18回 村の古文書—馬場文書—』2002.5 A4版 500部
- 『第19回 あつぎの修験者』2002.8 A4版 500部
- 『第20回 厚木の文学者 和田傳』2003.2 A4版 500部

[郷土資料館 NEWS]

『郷土資料館 NEWS』	(1号)	1999.3	A4版	500部
『郷土資料館 NEWS』	(2号～13号)	1999.4～2000.3	A4版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(14号～25号)	2000.4～2001.3	A4版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(26号～37号)	2001.4～2002.3	A4版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(38号～49号)	2002.4～2003.3	A4版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(50号～61号)	2003.4～2004.3	A4版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(62号～73号)	2004.4～2005.3	A4版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(74号～85号)	2005.4～2006.3	A4版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(86号～97号)	2006.4～2007.3	A4版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(98号～109号)	2007.4～2008.3	A4版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(110号～121号)	2008.4～2009.3	A4版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(122号～133号)	2009.4～2010.3	A4版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(134号～145号)	2010.4～2011.3	A4版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(146号～157号)	2011.4～2012.3	A4版	各600部
『郷土資料館 NEWS』	(158号～169号)	2012.4～2013.3	A4版	各650部
『郷土資料館 NEWS』	(170号～181号)	2013.4～2014.3	A4版	各650部
『郷土資料館 NEWS』	(182号～193号)	2014.4～2015.3	A4版	各650部
『郷土資料館 NEWS』	(194号～205号)	2015.4～2016.3	A4版	各650部
『郷土資料館 NEWS』	(206号～217号)	2016.4～2017.3	A4版	各650部
『郷土資料館 NEWS』	(218号～229号)	2017.4～2018.3	A4版	各660部

なお、郷土資料館開館以前、市立博物館展示準備のための基礎調査報告書については、『厚木市博物館資料』という体裁で、以下のように刊行し、資料目録（購入、収集、寄贈）も同じシリーズにて発刊してきた。資料館開館後の資料の調査、整理等に関する報告等については、『郷土資料館資料』というタイトルで資料館閉館まで刊行を続けた。

[厚木市博物館資料]

- 『厚木市荻野の動物Ⅰ』1995. 3
- 『厚木市荻野の植物Ⅰ』1995. 3
- 『谷戸田のムラ』1995. 3
- 『鐘ヶ嶽東方の七沢石』1995. 3
- 『最勝寺墓石調査報告書』1996. 3
- 『厚木市荻野の植物Ⅱ』1996. 3
- 『金光山最勝寺墓石調査報告書』1995. 3
- 『収蔵資料目録 1 寄贈・購入昆虫標本目録 (1)』1997. 3
- 『収蔵資料目録 2 寄贈・寄託維管束植物目録 (1)』1997. 3
- 『厚木市相模川の動植物』1998. 3
- 『長福寺墓石調査報告書』1997. 3
- 『収蔵資料目録 3 脇一郎寄贈蝶類コレクション目録』2005. 3

[博物館収蔵資料展図録]

- 『第1回博物館収蔵資料展 坂東彦三郎と厚木』1994. 2
- 『第2回博物館収蔵資料展 世界のチョウ・厚木のチョウ』1994. 11
- 『第3回博物館収蔵資料展 幕末―相州厚木―』1995. 2
- 『第4回博物館収蔵資料展 一夏の風物誌―花火』1995. 7
- 『第5回博物館収蔵資料展 厚木の植物―植物に魅せられた人々―』1996. 2
- 『第6回博物館収蔵資料展 広重の富士三十六景―厚木と富士信仰―』1996. 7
- 『第7回博物館収蔵資料展 厚木の里山をあるく』1997. 3
- 『第8回博物館収蔵資料展 旅―村、往還そして街道―』1997. 12

4 古民家岸邸

厚木市指定文化財である旧岸家住宅を展示場として、市民から寄贈された五月人形、雛人形を飾り、来館者に季節を感じてもらった。主に荻野地区から人形を募集し、人形に対する一言コメント、写真も添え、旧蔵者の思いが感じられる季節展示として開催した。その他、下記のとおり季節展示、イベントを行った。

なお、雛まつりは3月15日までの展示を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月4日以降、休館とし3月3日で終了した。

回	タイトル	期 間	入場者数
1	古民家岸邸の端午の節句	4月17日(水)～5月12日(日)	575
2	古民家岸邸の七夕	6月26日(水)～7月15日(月)	214
3	古民家岸邸の十五夜と十三夜	9月7日(土)～9月16日(月) 10月2日(水)～10月14日(日)	186
4	古民家岸邸の雛まつり	2月13日(木)～3月3日(火)	233
合 計			1,208



雛祭り 1



雛祭り 2

5 資料の収集・保管・活用（令和2年3月31日現在）

（1）資料の収集状況

郷土博物館は、前身である郷土資料館の頃より、郷土 厚木の歴史、民俗、自然に関する資料を購入、寄贈、寄託、採集などの方法で収集を行ってきた。令和2年3月末日現在、資料調査、整理を進め、資料件数を点数に改めるなどの精査を行った結果、新たに寄贈を受入れた資料214点を加え、合計点数は **183,779点** となった。

収集した資料は、各種展示会等において展示公開を進めている。

ア 入手方法別 資料の収集状況（累計）

	購入資料	寄贈資料	寄託資料	採集資料	その他資料	合計
人 文	4,733	19,029	6,823	0	285	30,870
自 然	1,511	24,958	1,436	124,956	48	152,909
合 計	6,244	43,987	8,259	124,956	333	183,779

イ 寄贈資料の受け入れ状況（敬称略）

受入年月日	資 料 名	寄贈者名（敬称略）	氏名 公開	数量
2019年4月2日	押切	厚木市三田南 吉村孝幸	○	1
2019年4月2日	『日本貿易博覧会』、題目曼荼羅(寛延2己巳＝1749) 他	厚木市下川入 大川美智子	○	65
2019年4月2日	『蚕糸業史 蚕糸王国日本と神奈川の顛末』小泉勝夫編	東京都町田市 小泉 勝夫	○	7
2019年4月2日	地神講資料一括	厚木市妻田南 新倉 博	○	23
2019年5月20日	『毛武遊記に沿って 華山と歩く桐生と周辺の旅』岡田幸夫 他	厚木市南町 柿沼 雄二	○	6
2019年5月28日	先山の道具（シュラ、ソリ）他	厚木市上荻野 斎藤 充	○	16
2019年6月4日	龍吐水	厚木市下荻野 片野 由利子	○	1
2019年6月25日	人形衣裳（お里、澤市）	厚木市林 須田 タカ江	○	2
2019年6月25日	菁莪小学校写真他	厚木市下川入 宮田 侑次	○	8
2019年6月16日	菁莪小学校卒業記念品 印鑑他	厚木市下川入 志水 ユキ江	○	1
2019年6月25日	七夕飾り くす玉大他**	厚木市上荻野 田口 良江	○	16
2019年7月19日	半鐘（神奈川県愛甲郡依知村山際中平 部落会、明治23年鑄造）	静岡県富士市 稲岡 健敏	○	1
2019年7月27日	退役記念杯（征露、征独記念、海軍、近衛退役記念）	伊勢原市石田 田口 多喜造	○	4
2019年8月12日	句碑（菁莪小跡地記念）	横浜市磯子区 池田 恵美子	○	1
2019年8月17日	草刈鎌	厚木市中依知 長田 吉郎	○	1
2019年10月30日	ダイカイ（一荷）	厚木市船子 関 庄治	○	1
2019年10月26日	唐箕（及川 鈴木製作所製）他	厚木市妻田 亀井 清一	○	7
2019年10月26日	文書一括 他	厚木市小野 石川 茂行	○	3

受入年月日	資 料 名	寄贈者名（敬称略）	氏名 公開	数量
2019年11月17日	土地宝典（南毛利村） 他	厚木市温水 吉岡 勝	○	1
2019年12月9日	土地宝典（三田村他5カ村組合村）他	厚木市三田 山田 文子	○	3
2019年12月12日	灯火管制用電球他	厚木市上荻野 岸 洋一	○	1
2019年12月26日	神奈川県愛甲郡三田村 村上安次郎家旧蔵史料	東京都東久留米市 牛米 努	○	1
2020年1月12日	つるし雛飾り他**	厚木市上荻野 田口 良江	○	2
2020年1月14日	念仏講中道具 大数珠、念仏数取、箱入（弘化）二十六夜講連名簿 他	厚木市上荻野 曾根 純一	○	5
2020年1月20日	東京オリンピック当時の新聞（2週間分）他	厚木市三田 森住 照雄	○	2
2020年1月16日	腕時計コレクション	厚木市下川入 三上 静也	○	1
2020年1月22日	日本外史	厚木市及川 栗原 弘文	○	18
2020年2月22日	奉差上手形之事（慶応2丙寅年5月26日）	厚木市下荻野 鯛持 典子	○	1
2020年2月22日	厚木市地図 昭和45年	厚木市温水 吉岡 勝	○	2
2020年3月19日	くるり棒、枝打ち鎌、皮剥き	厚木市下依知 寺久保 弘一	○	1
2020年3月22日	ウシダイ他、木地屋の道具	伊勢原市大山 播磨 啓太郎	○	12
				214



▲唐箕（及川村 鈴木製作所製 亀井清一氏寄贈）

(2) 収集資料の保管状況

郷土博物館収蔵資料の多くは、博物館内の4室の収蔵庫に収蔵、保管されている。

その他にも、昭和40年代から収集を進めてきた民具などの民俗資料は、博物館敷地内の郷土資料収蔵庫（＝写真）、三田公共用地内のコンテナ3基に収蔵している。

郷土博物館内に設置された収蔵庫は、空調機を使用し常時、文化庁が推奨する湿度55%、室温は摂氏20度、±5の温湿度を保つように設定している。

美術、人文、自然、液浸、それぞれの資料の内容により標本箱や文書箱を使用する等、専用の保存収蔵庫に収納、保存している。令和元年度は全館燻蒸を実施したが、今後は環境調査の結果によって燻蒸を行うものとする。



ア 収蔵施設別 資料の保管状況

	郷土博物館 収蔵庫	郷土資料収蔵庫	三田コンテナ	合 計 (点)
人 文	12,304	17,352	1,214	30,870
自 然	152,909	0	0	152,909
合 計	165,213	17,352	1,214	183,779

イ 収蔵施設面積

	郷土博物館 収蔵庫	郷土資料収蔵庫	三田コンテナ	合 計 (㎡)
面 積	497	348	108	953

(3) 資料の館外貸出等

ア 貸し出し 1件

申請日	期 間	資 料 名	貸 出 先	数量
8月12日	8月16日～ 12月27日	喪服（イロギ）	大和市つる舞の里歴史資料館	1

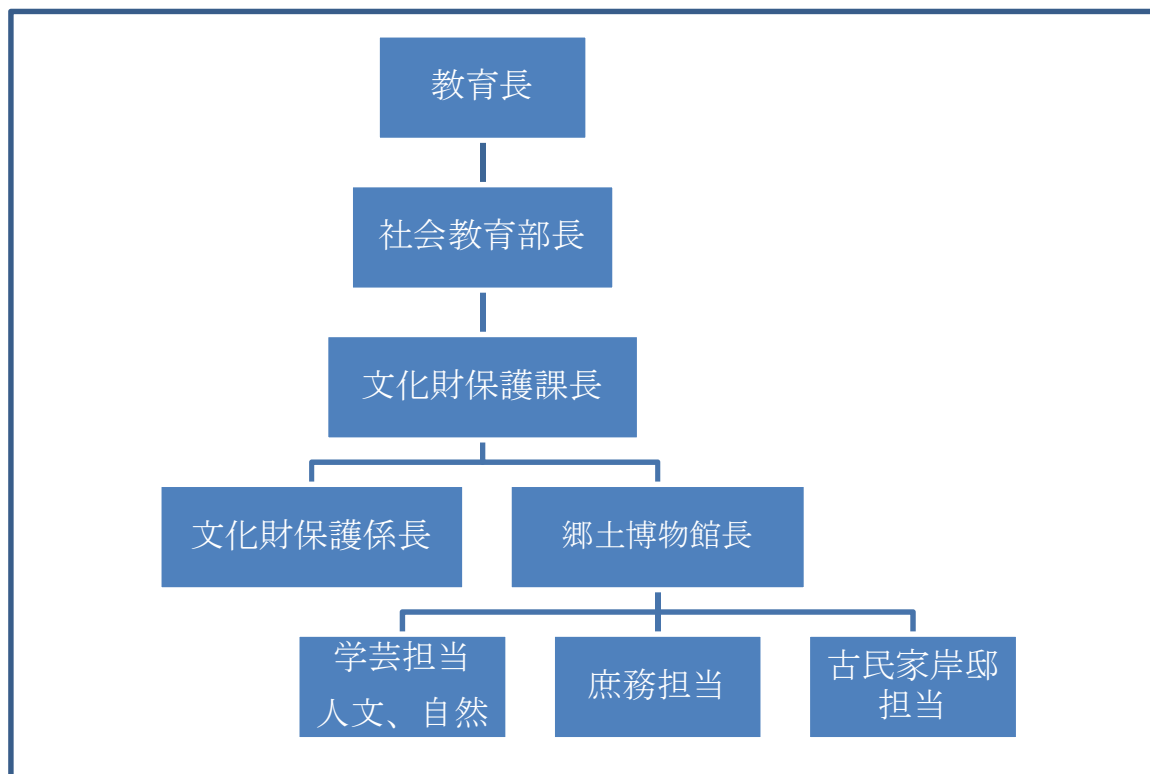
イ 特別利用 14件

申請日	資料名	利用者	形態
4月4日	「米上げ箒」(川井氏寄贈)画像データ	昭和館	掲載
4月15日	あつぎ郷土博物館 外観写真	株式会社 建設工業調査会	掲載
5月18日	「王子の料理屋」(F.ベ아트撮影) 画像データ	北区飛鳥山博物館	掲載
8月6日	「鎌倉(鶴岡八幡宮大塔)」 (F.ベ아트撮影) 画像データ	株式会社 山川出版社	掲載
9月1日	「安政見聞録」(中)	個人	掲載
10月8日	「施氏孫子講義卷八断簡」	個人	掲載
10月17日	「ベ아트写真集」画像データ	神奈川県県土整備局 道路部道路企画課	掲載
11月1日	林自治会寄託文書 「雑社例祭ニ付無勸料人形興行願」	個人	修論 執筆
1月16日	信玄公武相緒戦陣図帖	相模原市立博物館	借用
1月20日	游相日記(客舎酔舞図、侠客彦八像)	個人	掲載
1月30日	「嫁の入家儀礼」(岸ユリ撮影)	神奈川県立歴史博物館	借用
3月3日	信玄公武相緒戦陣図帖	相模原市博物館	展示 掲載
3月24日	「原町田」(F.ベ아트撮影)	(株)ビデオコミュニケーションズ	放送
3月7日	「厚木宿」(F.ベ아트撮影)	テレビ朝日映像株式会社	放送

III 庶 務

1 組織及び職員

(1) 組 織 (令和2年3月31日現在)



(2) 博物館協議会

ア 委員構成 (令和2年3月31日現在)

氏 名	所 属 (分野)	氏 名	所 属 (分野)
新井 一政	会 長 県立生命の星・地球博物館名誉館員 (生物)	明戸 葉子	厚木市上戸田児童館指導員
鈴木 良明	鎌倉国宝館館長 (歴史)	小松 秀雄	元ポーラ文化研究所長 (歴史)
馬場 弘臣	東海大学教育開発研究センター教授 (歴史)	渋谷 嘉平	元青年の家跡地活用研究会会長
鈴木 通大	実践女子大・成城大学非常勤講師 (民俗)	田村 勝利	公募による選考
市川 理恵	東京大学史料編纂所職員 (歴史)	飯田 節子	公募による選考

イ 会議の開催

日 時	内 容
7月24日	平成31年度郷土博物館事業計画について、平成30年度郷土博物館事業報告について
12月23日	令和元年度における事業の実績及び予定、博物館展示の長期計画について
3月	令和元年度郷土博物館事業報告等について予定をしていたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止

2 施 設

(1) 郷土博物館

ア 建設概要

位 置	神奈川県厚木市下川入1366-4
敷 地 面 積	10,025m ²
建 物 構 造	鉄筋コンクリート造 地上2階建
建物床面積	1,590m ² ・延床面積 1階 1,092m ² 、2階 497m ²
開館年月日	平成31年1月27日

イ 展示等面積

基本展示室	304.15m ²
企画展示室	90.81m ²
体験学習室	130.7m ² (体験学習室1、2)
専門書庫(1階)	52.7m ²
収蔵庫(1階)	30.29m ² (化石岩石展示・収蔵室)
展示準備(1階)	90.38m ² (荷解き場、展示準備室等)
収蔵庫(2階)	312.25m ² (人文、美術、自然、液浸)
施設管理室	245.24m ² (消化ボンベ、機械室、エレベーター等)
事務・学芸室	68.22m ²
共用部	215.3m ² (エントランスホール等)、48.06m ² (トイレ、授乳室)

(2) 古民家岸邸

位 置	厚木市上荻野792-2
敷 地 面 積	1,716m ²
建物床面積	520.13m ² (主屋1階 272.25m ² 2階 140.24m ² 土蔵1 1階 33.12m ² 2階 33.12m ² 土蔵2 1階 20.70m ² 2階 20.70m ²)
建設年月日	明治24年



3 入館者数

(1) 令和元年度 郷土博物館 月別、施設別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入館者	4,565	3,037	2,474	4,220	3,698	2,602	2,724	4,059	2,565	3,276	3,187	179
開館日	30	29	29	30	30	29	29	29	27	27	28	3
平均	152	105	85	141	123	90	97	143	101	121	118	60
累計	4,565	7,602	10,076	14,296	17,994	20,596	23,320	27,379	29,994	33,220	36,407	36,586

(2) 令和元年度 古民家岸邸 月別、施設別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入館者	236	478	168	212	88	149	181	78	91	59	273	122
開館日	22	21	22	21	23	18	21	22	18	20	20	2
平均	11	23	7	10	4	8	9	4	5	3	14	40
累計	236	714	877	1,089	1,177	1,326	1,507	1,585	1,676	1,735	2,008	2,130

【参考】郷土資料館(郷土博物館) 利用者数の推移

	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
入館者	4,233	8,685	11,887	12,701	9,424	5,268	8,089	8,076	7,212	12,264	15,001
開館日	144	331	328	329	340	340	340	340	349	353	349
平均	29	26	36	39	28	15	24	24	21	35	43

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	合計
入館者	13,042	12,310	12,895	14,176	13,109	14,289	11,741	8,760	6,338	11,644	221,144
開館日	349	351	350	350	350	350	350	359	359	63	6,774
平均	37	35	37	41	37	41	34	24	18	185	33

※平成 10 年度は、11月3日～翌3月31日までの人数。

※平成 15 年度は、6月15日～9月13日まで耐震工事のため 2階展示室を閉鎖。

※平成 29 年度は、10月1日より、移転準備に伴い 2F全フロアを閉鎖。

※平成 30 年度は4月1日～1月25日まで郷土資料館(寿町)を休館し、1月27日からあつぎ郷土博物館(下川入)として開館した。入館者数は、1月27日～3月31日までの人数。

※平成31年度は、新型コロナウイルス感染対策のため3月4日より3月31日まで休館。

あつぎ郷土博物館年報 2

発行日 令和 2 年 5 月 3 1 日

編集 あつぎ郷土博物館

〒243-0206 厚木市下川入1366-4

TEL 046-225-2515

発行 厚木市教育委員会